

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/06/25

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.65	-0.10
JPY/THB	0.2254	0.0014
USD/JPY	144.94	-1.21
EUR/THB	37.92	0.00
EUR/USD	1.1609	0.0031
USD/CNH	7.166	-0.009
SGD/THB	25.52	0.02
AUD/THB	21.20	0.05
USD/INR	85.98	-0.77
USD Index	97.86	-0.56

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.477	-0.022
10Y (THB)	1.675	-0.011
5Y (USD)	3.864	-0.049
10Y (USD)	4.295	-0.053

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,317.4	-60.3
WTI (Oil)	64.37	-4.14
Copper	9,669.0	1.5

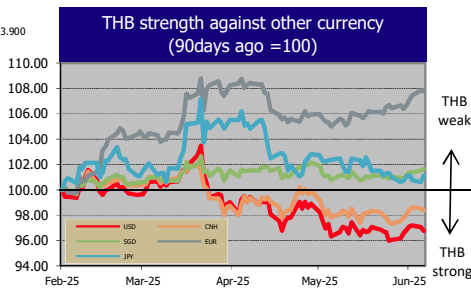
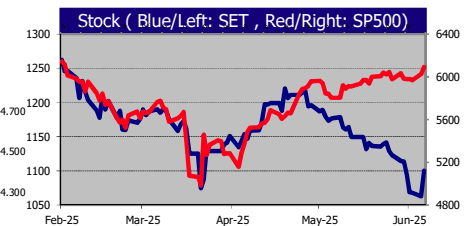
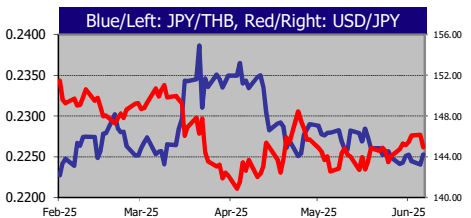
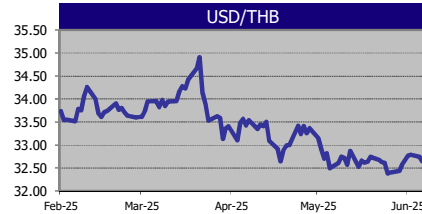
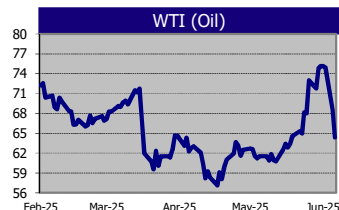
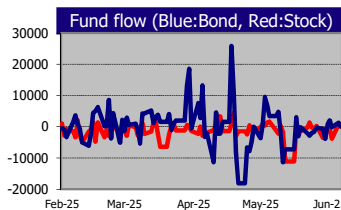
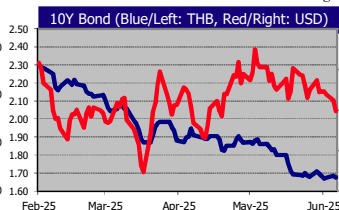
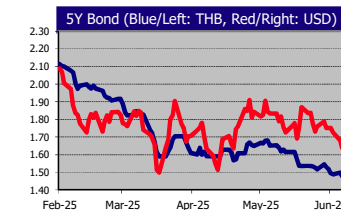
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,100.01	37.23
NIKKEI (JP)	38,790.56	436.47
DOW (US)	43,089.02	507.24
S&P500 (US)	6,092.18	67.01
SHCOMP (CN)	3,420.57	38.98
DAX(GER)	23,641.58	372.57

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	240	-673.4
Bond net flow	41	-1278.8

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは下落。32パーツ台後半の水準で取引を開始。朝方にトランプ大統領が中東情勢に関して停戦合意を発表したこともあり、ドル買いが巻き戻される展開に。ドルパーツについては、上値の重さが意識されながらも、翌日にタイ中銀による金融政策委員会を控える中で、大きな動きは見られず。ただ、バンコク時間午後に入ると、「タイ内閣改造最終合意」、「タイ政府による景気刺激策承認」といったヘッドラインが確認されたこともあってか、32パーツ台半ばまで下値を伸ばした。海外時間入り後も上値の重さは継続。32パーツ台半ばでの推移が継続し、そのまま32.65レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

昨日のドル円は下落。146円台前半の水準で取引を開始すると、トランプ大統領による停戦合意発表を受けてドル売り優勢の地合いとなる中で下落。バンコク時間午後には144円台まで下落する展開に。海外時間、米6月コンファレンスボード消費者信頼感指数が市場予想を大きく下回る結果となったことが確認された場面では144円台半ばまで下落幅を拡大させた。ただ、終盤にかけては動きも一服。144円台後半まで戻し、144.94レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

本日、タイ中銀会合が予定されている。事前の市場予想では政策金利の据え置きを予想する向きが多勢となっているが、一部では利下げを見込む向きもある。かく言う弊行のエコノミスト、Vishnu Varathanも利下げを見込む一人だ。彼が利下げを見込む主な理由に、不良債権比率が高まっていること、新規住宅ローン実行が減少していること、また民間消費に関しても低下傾向が確認されていること等がある。タイ経済が鈍化することで、タイ中銀は予防的に利下げを行う可能性があるとの主張だ。(詳しくは、メール本文に記載のURLから『Mizuho Daily 25 June 2025』をご覧ください)確かに、タイ経済が鈍化しているという主張は納得でき、また直近数か月でドル安が進んだ結果、為替水準を気にせずに利下げできるという点においても利下げの可能性は排除できないであろう。ただ、仮に利下げが決定されたとしても、為替市場の観点からすると、昨日のイスラエル・イランの停戦合意後ドル安が進んでいる環境下、パーツ安は一時的なものとなるか。サプライズで利下げが行われたとしても、ドルパーツが上昇した局面で慌てぬよう注意したいところだ。(綱島)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.